

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 4 部門第 1 区分

【発行日】平成27年12月24日 (2015.12.24)

【公開番号】特開2014-202047(P2014-202047A)

【公開日】平成26年10月27日 (2014.10.27)

【年通号数】公開・登録公報2014-059

【出願番号】特願2013-81577(P2013-81577)

【国際特許分類】

E 0 3 C 1/042 (2006.01)

【F I】

E 0 3 C 1/042 B

【手続補正書】

【提出日】平成27年11月5日 (2015.11.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基材の表面にアモルファスカーボン層が形成された水栓金具であって、  
前記アモルファスカーボン層が形成される前後の色差値の差分である色差  $E^*a_b$  が、  
2.1 より大きく 22.1 未満であることを特徴とする防汚性水栓金具。

【請求項 2】

前記アモルファスカーボン層の膜厚が 12 nm より厚いことを特徴とする、請求項 1 に記載の防汚性水栓金具。

【請求項 3】

基材とアモルファスカーボン層との間に設けられた中間層をさらに備えたことを特徴とする、請求項 1 に記載の防汚性水栓金具。

【請求項 4】

前記アモルファスカーボン層の膜厚が 0.8 nm より厚いことを特徴とする、請求項 3 に記載の防汚性水栓金具。

【請求項 5】

前記中間層の膜厚が 1.4 nm 以上 であることを特徴とする、請求項 4 に記載の防汚性水栓金具。

【請求項 6】

前記色差  $E^*a_b$  が 2.5 以上 17.8 以下であることを特徴とする、請求項 3 ~ 5 のいずれか 1 つに記載の防汚性水栓金具。

【請求項 7】

前記色差  $E^*a_b$  が 9.3 以下である、請求項 6 に記載防汚性水栓金具。

【請求項 8】

前記色差  $E^*a_b$  が 2.1 より大きく 5.1 未満であることを特徴とする、請求項 3 ~ 5 のいずれか 1 つに記載の防汚性水栓金具。

【請求項 9】

前記アモルファスカーボン層と前記中間層との厚さの合計が、20 nm 以下である、請求項 3 ~ 8 のいずれか 1 つに記載の防汚性水栓金具。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 0

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 0 】

上記目的を達成するために、本発明は、表面にアモルファスカーボン層が形成された水栓金具であって、前記アモルファスカーボン層が形成される前後の色差値の差分である色差  $E^*a_b$  が 2 . 1 より大きく 2 2 . 1 未満であることを特徴とする。